

令和4年度入学試験問題

外国語 英語

注意事項

試験開始の合図があるまで、この冊子を開けないこと。

1. この冊子の本文は1ページから12ページまである。印刷の不鮮明な部分、ページの脱落などがあった場合は申し出ること。
2. 答案用紙には、記入例のとおりに受験番号と氏名を記入すること。

記入例

受験番号	1	2	3	4	5	氏名	大塚 茶織
------	---	---	---	---	---	----	-------

3. 解答は、すべて答案用紙に記入すること。
4. 答案用紙の解答欄に、解答と関係のない文字、記号、符号などを記入しないこと。また、答案用紙の欄外の余白には、何も書かないこと。
5. この冊子は持ち帰ること。

1

次の英文を読み、設問に答えなさい。（*, **を付した語には、注があります。）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(Adapted from Michele Gelfand, *Rule Makers, Rule Breakers: How Tight and Loose Cultures Wire Our World*, 2018)

〈注〉 anthropologist*：人類学者
ostracism**：追放，村八分

設問 1 下線部(1)を和訳しなさい。

設問 2 []の中の語句を最も適切な順序に並べ替えて解答欄に書きなさい。
Ⓐ い。 Ⓛ う。

設問 3 文中の⑧に当たる最も適切な語を以下の(ア)～(エ)から選び、解答欄に記号で書きなさい。

- (ア) belief
- (イ) concern
- (ウ) desire
- (エ) interest

設問 4 下線部(2)を和訳しなさい。

設問 5 文中の⑨に当たる文について、本文の趣旨と合致するものを以下の(ア)～(エ)から 1 つ選び、解答欄に記号で書きなさい。

- (ア) while norms have been the results of our effort, they're also the source of our species all around the world
- (イ) while norms have been the secret to our success, they're also the source of massive conflict all around the world
- (ウ) while norms have helped us to evolve, they're also remarkable all around the world
- (エ) while norms help us in our daily lives, they're also fundamentally basic all around the world

2

次の英文を読み、設問に答えなさい。（*, **を付した語には、注があります。）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(Adapted from Erik Larson, *A Thousand Brains: A New Theory of Intelligence*, 2021)

<注> neuroscientist*：神経科学者
neocortex**：大脳新皮質

設問 1 ①～④の文を最も適切な順序に並べ、解答欄に記号で書きなさい。

設問 2 下線部(1)を和訳しなさい。

設問 3 (a), (b)に入る最も適切な前置詞を以下から選び、それぞれ
解答欄に書き入れなさい。

from, in, of, on, with

設問 4 文中の⑩～⑯に当てはまる最も適切な句を以下の(ア)～(エ)から選び、それ
ぞれ解答欄に記号で書きなさい。

- (ア) a new way to think about intelligence
- (イ) a theoretical framework
- (ウ) intelligent machines
- (エ) the details

3

次の英文を読み、設問に答えなさい。（*, **を付した語には、注があります。）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(Adapted from Keith Grint, *Leadership: A Very Short Introduction*, 2010)

<注> empirical* : 経験的な

heuristic** : 発見的な

設問 1 段落Ⓐの内容に合致する文を以下の(ア)～(エ)から 1 つ選び、解答欄に記号で書きなさい。

- (ア) As he read, his understanding grew.
- (イ) As he read Socrates' work, he learned about leadership.
- (ウ) In the beginning, he knew about leadership from experience.
- (エ) In the end, he had many followers.

設問 2 下線部(1)の ‘essentially contested concept’ とは何か、本文に即して日本語で説明しなさい。

設問 3 下線部(2)を和訳しなさい。

設問 4 ⑧～⑩の各段落の主題として最も適切なものを以下の(ア)～(エ)から選び、それぞれ解答欄に記号で書きなさい。

- (ア) An idea worth arguing about
- (イ) Creating a system
- (ウ) Four definitions, more confusion
- (エ) Limitations of the model

4

次の文章を読み、設問に英語で答えなさい。

ノートを書いておくことで、失敗を知見として役立てられるようになります。そして個人の生活以外でも、さまざまな「失敗」が前進のために活かされている場面があります。たとえば学術論文などは好例でしょう。

何かの実験でこういう結果が出たという発表があった後、その実験の追試が行われて「この方法でうまくいかなかった」と報告されることがあります。失敗の一つです。こうした報告がいくつも集まるならば、最初の発表がそもそも間違っていたと判断されます。失敗報告が積み重なって、一つの失敗が明らかになったわけです。しかし、それで科学が後退したわけでもなければ、前進していないわけでもありません。「その実験では望む結果が得られない」という新しい知見が得られたのです。将来研究をする科学者は、選択肢を一つ外して考えることができます。これは前進と言えるでしょう。

ここまで大きな話を持ち出さなくても、「うまくいかないことがわかる」は一つの知見だと言えます。そこから改善策がわからることもありますし、まったく違うアプローチを考えるきっかけになることもあります。何も考えずに、ただ同じことを繰り返して、同じ失敗を重ねているだけよりもはるかに生産的でしょう。記録を残していれば、そうした同一失敗のループを抜け出す手がかりが得られるのです。

日本社会では、どうにも失敗への嫌悪感が強いところがあります。それは、均質的なムラ社会であったり、あるいは生き方が一つのルートしかなかった時代の名残なのかもしれません。しかし、失敗することは、それほど悪いことではありません。失敗を経験してわかることもたくさんあります。記録をつけることは、失敗や挫折の捉え方を反転させ、それを知見として活かす道のりをつなげてくれるのです。

(倉下忠憲 『すべてはノートからはじまる』 2021年)

設問 Explain what the author means by the underlined sentence in about 70 words.